



GALLERY HEPTAGON  
HEPTAGON WORKS GALLERY and LIVING

Press Release 2024.3/20

## 杉原直美個展 「襲の風景」開催のご案内

Naomi Sugihara solo exhibition -Landscape of Layers ∞-

このたび、ギャラリーヘプタゴンにて、杉原直美個展「襲の風景」を開催いたします。

杉原直美は大阪芸術大学にて染色を専攻後、テキスタイルデザインやプランナーを経て、2年前から

アーティストとしての活動をスタートさせました。デザイナーとして長年のキャリアを活かしつつ

自らの新たな境地を開いています。また本展では杉原が作家活動の中で誕生させたブランド「upcycle art box」のオリ

ジナルグッズの販売もいたします。これは杉原が創造的再利用を作品を制作するうえで重要なテーマであるにとらえ、

作品を制作中に生まれる切ったり抜いたりした切れ端を再利用すべく、本来捨てるはずの廃棄物を付加価値のあるモノに変換したブランドです。併せてぜひご覧ください。

### —— ステートメント ——

本展の「襲ね(かさね)の風景∞」は、-海-をテーマに、泡沫、海波、海月、珊瑚などが、うねり、ゆらぎ、増殖し、進化のカタチをかたちづくる様を、モチーフの重ねと襲ねあわせ、終わりのない生命の無限∞を表現する。

<襲ね>とは、古来より四季折々のうつろいを色彩として感じ取ってきた日本人の配色美、-襲の色目-から引用している。平安時代の王朝の女房の装束である十二単に象徴されるように、平安時代の貴族が衣を何枚も重ね着したのが「襲色目(かさねのいろめ)」の始まりとされる。

作品中には羽子板に用いる押絵、絞り技法などの日本の伝統技法を駆使し、布、フェルトを用いたカタチの<襲ね>、色の<襲ね>、技法の<襲ね>を組みあわせて構成されている。

<襲ね>ることは、日本的な思考に基づくものであり、私自身の美の根源を見つめ直す手段でもある。

また、素材としてのファイバーと対峙し、その中に自身の内面を投影する。

変幻万化のファイバーは、私を魅了して止まない。繊維から糸という線になり、集合体は、編む、織る、漉くなどの手法から布や紙など面にもなる。さらに立体にも。

形状に加え、質感、温感、色彩、香りなど多種多様。

造形と自然の力が創り出す変幻万化な無限∞のカタチ(生命)。

そこから生まれるものは、周囲の空気を躍動させ、光を放ち、私を高揚させる。

芸術とは何かを問う自己に光と闇を見出すものでもある。

そしてそこに可能性と独自性をもとめることにこそ、つづく未来があると信じている。

### 【展覧会詳細】

会期 | 2024年4月13日(土)~4月21日(日)

時間 | 12:00~18:00

休廊日 | 4月18日(木)

会場 | Gallery Heptagon (ギャラリー・ヘプタゴン)

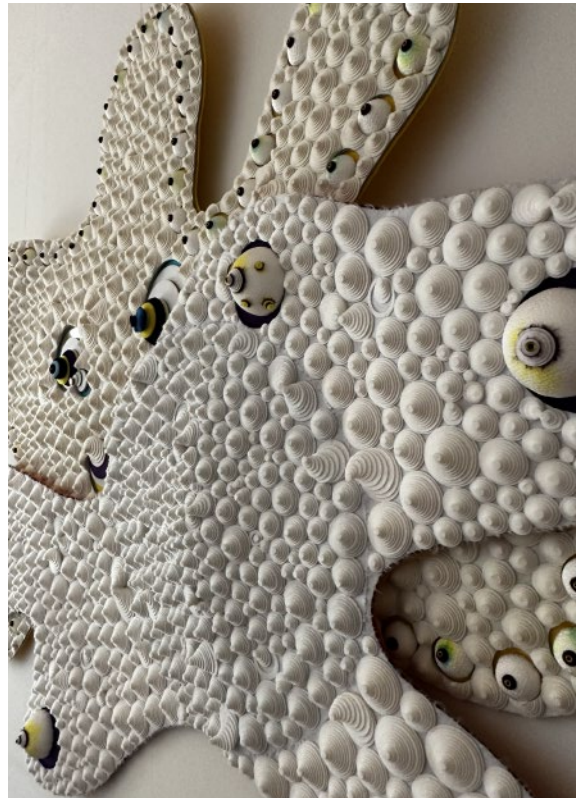
〒602-8175 京都市上京区下立売智恵光院西入中村町 523

TEL: 080-7583-3388 info@heptagonworks.com www.heptagonworks.com





深海の月



白のはじまり 泡沫



華の精霊 増殖



進化のカタチ: 小品

## 【プロフィール】

### 〈学歴〉

1981 大阪芸術大学工芸学科染織専攻卒業

### 〈戦歴〉

1981～1985 繊維専門商社にてテキスタイルデザイン に従事

1986～1990 設計事務所、CI カンパニーにてプランニングに従事

1991～1998 リテイルプロデュースカンパニーにて商業施設プランニングに従事

1998～ ノマド研究所設立。

商業施設プランナー・テキスタイルプランナー・店舗開発・和食店経営・EC

2023 自身のブランド Upcycle art box( 商標・意匠登録済み ) の構築

### 〈個展〉

2022.4 襲の風景 PartI 楓ギャラリー (大阪)

2024.4 襲の風景 Part II ギャラリーヘプタゴン (京都)

### 〈グループ展〉

1979 「七染七布展」ギャラリー白 (大阪)

2022.7 出かけるアート展 楓ギャラリー (大阪)

2022.12 Luxembourg Art Prize 2022 Luxembourg

2023.9 パスカルの蝶展 鶴身印刷所 (大阪)

2024.3 パスカルの蝶展 建仁寺両足院 (京都)

### 〈受賞歴〉

1981 大阪芸術大学 卒業制作 グランプリ賞 受賞

2022.12 Luxembourg Art Prize 2022 芸術功労賞 受賞 (Luxembourg)

### Academic background

1981 B.A.of Dyeing and weaving Course from Osaka University of Arts

### Professional career

1981～1985 Worked in textile design at a trading company specializing in fibers.

1986～1990 Worked in planning at design office and CI company.

1991～1998 Worked in planning of shopping center at Retail Produce company.

1998～ Nomad Research Institute established.

Commercial facility planner, textile planner, store development,

Japanese restaurant management, EC

2023 Establish own brand Upcycle art box (trademark and design registered)

### Exhibitions Solo shows

2022.4 "Superimposed ∞ Landscape PartI " Kaede Gallery (Osaka,Japan)

2024.4 "Superimposed ∞ Landscape Part II" Gallery Heptagon (Kyoto,Japan)

### Exhibitions Group shows

1979 " Seven Dyes SevenCloths " Gallery White(Osaka,Japan)

2022.7 " The Art of Going Out " Kaede Gallery (Osaka, Japan)

2022.12 Luxembourg Art Prize 2022 (Luxembourg)

2023.9 "Pascal's Butterflies" Tsurumi Printing Studio (Osaka,Japan)

2024.3 "Pascal's Butterflies" Kenninji Ryosokuin (Kyoto,Japan)

### Awards

1981 Graduation Works Exhibition Grand Prix Award (Osaka,Japan)

2022.12 Luxembourg Art Prize 2022 Artistic Achievement Prize (Luxembourg)